

5. 婦人防火クラブ員普通救命講習会及び上級救命講習会の実施

婦人防火クラブ員救急講習会を終えて上級救命講習会の実施

宮城県 松島町婦人防火クラブ連合会



昨年、「婦人防火クラブ員救急講習会」モデル地域に指定していただき、9月7日、8日、10日の3日間に渡り、開催実施致しました。延べ人数107名の方々に講習を受けていただきました。講習を受けている様は、応急手当の必要性を自覚し、不安と緊張の中に、笑いも有りましたが皆真剣に取り組んでいました。



3時間という短い時間の中で心肺蘇生法の技術を習得し、皆は誇らしげに救命講習修了証をいただいております。

講習会終了後、ほとんどの人がもう一度やってみたい、やりたいとの盛り上げがあり、さらにはもっと上級を目指したいという熱意と意欲に満ち溢れており大盛會に終了することが出来ました。



これらの熱意と意欲を受けて、今年7月に37名の方々に上級救命講習会を開催受講していただきました。さらには12月5日、6日、7日に応急手当普及員講習会を開催し15名の方が受講する予定になっております。このように防火クラブの活動そのものにも活力が芽生え、各クラブとも活発な活動ができるようになり、連合会運営に貢献していただいております。

これからもモデル地域として、普通救命講習を受講したクラブ員をはじめ地域に根ざした普及活動を展開してゆく決意であり、寄贈いただきました心肺蘇生人体モデル等を我が防火クラブの財産とし、普及員の方々が各地域に応急手当の重要性を説き、普及を図り救命率向上に貢献していくものと確信しております。

女性防火クラブ員普通救命講習開催

愛知県 豊橋市女性防火クラブ連絡協議会・豊橋市消防本部

豊橋市女性防火クラブ連絡協議会は、平成15年10月5日、11月26日の2回、女性防火クラブ員を対象に普通救命講習を開催しました。

この講習会は、女性防火クラブ員の総合的な災害対応力の向上を目的に毎年実施しているもので、本年度（財）日本防火協会から『平成15年度「婦人防火クラブ員救急講習会」モデル地区』の指定を受けて実施しました。



10月

5日豊橋市賀茂校区市民館で開催した賀茂校区、西郷校区女性防火クラブ合同の講習会には58名、また、11月26日豊橋市石巻校区市民館で開催した石巻校区女性防火クラブ講習会には44名のクラブ員がそれぞれ参加しました。

11月26日実施の石巻校区女性防火クラブは本年4月に結成されたばかりのクラブであり、校区総代会長からは「女性防火クラブを自主防災組織の中の重要なポジションに位置付けています。今日身につけた知識・技術を生かし、大災害発生時には校区市民のために大

いにご尽力いただくよう期待しています。」と激励があり、受講者は皆それぞれに課せられた立場を再認識し、身の引き締まる思いで講習会に臨みました。

また講習会には(財)救急振興財団及び日本防火協会からそれぞれ視察に見えられ、日本防火協会からは「この講習会を出発点に、今後は普通救命講習再講習や上級救命講習を受講し、応急手当技術の向上に努めていただき、更には応急手当普及員の資格を取得し、女性防火クラブ自らが応急手当の普及活動を展開し、救命率の向上を図っていただきたい」とのご指導がありました。

講習会終了後に実施したアンケートでは、「参加して良かった」との意見が多数あった一方、「心肺蘇生法に若干不安がある」との意見も約半数ありました。しかし、その多くが「マスターできるまで参加したい」という意欲を示していました。

2回の講習を通し、女性防火クラブ員に対する救命講習の必要性を再認識し、また、再講習、上級救命講習のあり方などの課題も見いだすことができ、大変有意義な講習会となりました。

なお、この講習会以後3校区の女性防火クラブから普通救命講習開催の申し出があり、実施することが決定しました。モデル地区指定に伴う普通



救命講習を実施したことにより、未受講の女性防火クラブ員にも応急手当の必要性が認識され始め、これはモデル地区に指定されたことによる効果であると思慮されます。

▲ [このページの上に戻る](#)

普通応急手当講習会の実施

山梨県 三富村婦人消防隊



三富村は、山梨県の北東部に位置した自然豊かな山村で、秩父・多摩・甲斐国定公園内には観光で有名な西沢渓谷があります。平成10年4月、村民の長年の懸案であった雁坂トンネルが開通し、国道140号により埼玉県と接続され、村の産業である農業、林業、観光が活性化されました。

三富村婦人消防隊は昭和22年1月に結成されて以来57年が経過し、現在は隊員数327名で活動を行っております。時代の流れと共に村内も高齢化が進み、また消防団員は近隣の他市町に通勤する者が増加していることか

ら、火災を出さない地域作りを目標に隊員が一丸となって予防消防に日夜努力しています。

また、病気やケガの治療には診療所しかないことから、救急車が到着するまでの間の応急手当に対し、若い隊員は特に関心を持っていました。

今回、(財)日本防火協会の婦人防火クラブ員救急講習会事業のモデル地域に選定され、資機材等の助成をいただき、平成15年11月6日～11月27日まで4回に分けて、普通救命講習を100名の隊員が午後7時から10時までの3時間 熱心に受講いたしました。



特に、11月13日(木)には、日本防火協会から梅次総務部長、救急振興財団からは大規企画調査課長また本県女性防火クラブ連絡協議会からは中澤会長のご出席をいただくなかで、普通救命講習会が開催できましたことは、隊員の応急手当技術の向上と合わせて身に余る光栄と深く感謝しております。

今後も三富村婦人消防隊は、女性として身近なところから消防団員と協力し活動していきたいと思っております。